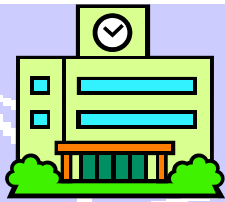


# 江戸崎総合高等学校



進路指導部だより:初秋号

2011年9月14日(水)

発行責任者 進路指導部長 佐野 毅

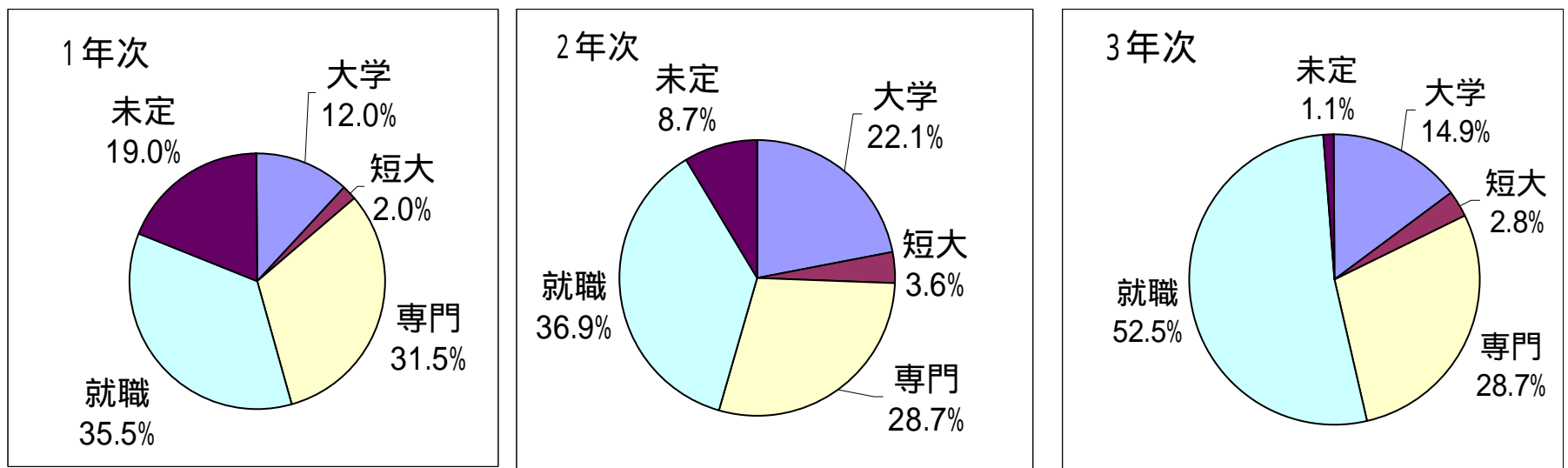
進路指導部だよりは、進路決定の手助けになればと考え、生徒や保護者の方に向けて発行します。ご活用下さい。

今回の発行内容は、以下の通りです。

## 前期に実施した本校の進路希望調査の結果から

	大学	短大	専門	就職	未定	計	
1年	24	4	63	71	38	200	4月実施
2年	43	7	56	72	17	195	4月実施
3年	27	5	52	95	2	181	6月実施
合計	94	16	171	238	57	576	

## 平成23年度 進路希望状況



### コメント

総合学科になって以来、進路希望では、就職半数、進学半数の傾向に大きな変化はない。当然だが、入学したばかりの1年次生では未定が多く、3年次までには未定がほぼ無くなる。今回は特に、進学指導に力を入れている2年次で、進学の割合が高くなっている。1年次も続いて欲しい。就職希望の生徒の中は、専門学校に進学し、国家資格や各種検定を取ってから就職に取り組んだ方がよい場合も多い。厳しい経済状況ではあるが、保護者の経済的援助を望みたい。

### 進路指導部就職担当より一言:仁林先生より

- ・7月から3年次生の就職活動が始まりました。今年度の求人傾向としては、企業数はほとんど変わらないものの、募集人数が例年の半分程度に減少し、1社当たりで2名程度の求人数になっています。その理由は、働くための人員は補充できているので、今は組織を維持するため年代の空白を作らないように募集をしているとのこと。
- ・そのような事情もあり、最近では人間性を重要視しての採用となっているため、高校時代に何かに打ち込んだ人を求めているようです。
- ・3年次生は、厳しい状況の中、夏休みを返上して得たチャンスなので、もうひとガンバリして、内定を獲得して欲しいものです。落ちたら次の受験先はありませんよ～！

## 進学を考えた時、必要なお金の話

ここでは、4年制大学および専門学校に絞って数字を考えてみよう(短期大学は4年制大学の半分と想定)

### 4年制大学編

卒業までに必要な金額：受験料 + 交通費 + 入学金 + 授業料 + 諸経費 を平均化した

その中でさらに、文系学部、理系学部(医学・歯学・薬学は除く)に分けてみる

A: 4年制私立大学でAO入試や指定校推薦の場合(受験機会が1回るとき)

B: 4年制私立大学で公募制推薦の場合(受験機会が3回るとき: 宿泊を1回)

C: 4年制私立大学で一般受験の場合(受験機会が7回るとき: 宿泊を2回)

D: 国立大学法人および公立大学(センター試験 + センター利用 + 前期および後期受験の2回るとき)

		受験料	交通費など	入学金	授業料	諸経費	合計	
A	文系	3.5万円	1.5万円	26万円	300万円	80万円	約410万円	教科書代は除く
	理系	4万円	1.5万円	28万円	420万円	90万円	約540万円	教科書代は除く
B	文系	13万円	5万円	26万円	300万円	80万円	約430万円	教科書代は除く
	理系	14万円	5万円	28万円	420万円	90万円	約560万円	教科書代は除く
C	文系	25万円	10万円	26万円	300万円	80万円	約460万円	教科書代は除く
	理系	25万円	10万円	28万円	420万円	90万円	約600万円	教科書代は除く
D	文理系	8万円	3万円	28.2万円	215万円	基本的に0円	約260万円	教科書代は除く

これ以外に、下宿代・食事代など生活費が必要:(私立の医学歯学薬学などは、さらに毎年数百万円程度必要)

### 専門学校編: 初年度納入金と2年目(授業料と設備実習費)で受験料・交通費などは除く

その中で、工業系(建築や自動車)と医療系と衛生系(調理理容美容)文化系(語学法律)をそれぞれ平均してみると

	工業系	医療系	衛生系(	文化系	全体を平均化
初年度納入金	125万円	150万円	130万円	110万円	125万円
2年目	95万円	110万円	100万円	80万円	100万円

そこで、保護者の負担を減らすために

各種団体の奨学金

(公的機関を含む)金融機関からの教育ローンを生徒が自分で就職後に返却する

新聞奨学生制度の利用

の3点について活用すべき!!

まずは、奨学金の言葉の定義から

- 1: 給付型とは、返還義務がない形式である。つまり、「もらい得」ってこと。給費生や特待生などもそれ。
  - 2: 貸与型とは、期限内に定められた方法で返還。日本学生支援機構や各地方公共団体とか学校独自など、就学の機会を増やすために実施。かなりの低金利で卒業後に返還を始める事が多い。
- @特徴は、成績が良いとか 特技や難易度の高い国家資格をもつ と奨学金でかなり有利になるってこと。

また(推奨するものではありませんが)金融機関からの教育ローンの一例として、常陽銀行の教育ローンについて「学援生活」という名称です。その特徴は

入学金・授業料・仕送りなどに、4年制大学ならば50万円以上700万円まで利用可能

在学中は利息のみの支払いで、卒業後に10年以内の返済

保護者が申し込むが、税込み年収や完済時の年齢、入学の6ヶ月前から利用可能、変動金利、担保&保証人不要など、様々な条件があります。

最後に、新聞奨学生制度について

いわゆる全国紙と呼ばれている朝日・読売・日経・毎日・サンケイの各新聞販売店での仕事をする事です。特に、都内の大学や専門学校に進学する際は、住む・食べるについて新聞販売店が面倒をしてくれます。学費も、入学時に、入学金と授業料の貸し付けを受けることができます。一定期間勤務すれば、返済免除になります。概ね大学ならば4年間・専門学校ならば2年間です。